

令和3年度 自己評価結果

学校法人 勢至学園 横内幼稚園 山田浩子

1 経営の重点に関わる事

教育目標 『心豊かで元気な子』

教育方針 子ども一人ひとりが安心感と信頼感を持って、様々な活動に取り組み、発達に必要な体験を得ていき、心身共に健やかな人間形成や子どもの育ちを援助し、生き抜く力を培う

2 学年の教育目標

乳児 1人1人が心地よく安定した生活リズムで過ごし、保育者と信頼関係をきづく

満3歳 自分の気持ちを表現し、受け止めてもらうことで園生活への意欲を高める

年少 基本的な生活習慣を身に付けるとともに集団生活に慣れる

年中 学級の中で安心して自分を出し、友達と遊ぶ楽しさを感じ取る

年長 クラスの中で一人ひとりが自己発揮し、友だちと協力し合いながら自主的に園生活を進めていくようにする

3 今後取り組むべき課題

- ・ 乳児クラスの0歳児から就学前迄の子どもの繋がりのある保育についてもっと研修を重ねていきたい。
- ・ 質の高い保育を目指し、学年をこえ職員同士が保育について話し合いが持てるように時間を作っていきたい。
- ・ 防災訓練・不審者訓練等、子供の安全対策については職員が常に危機管理を持ち、取り組む必要性がある。
- ・ コロナ感染対策を十分にしながら、他校や地域の方々と交流を持てる機会を作っていきたい

No.1 保育の専門性に関する自己評価

項目	内容		評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
教師能力資質・	①	挨拶、感謝の気持ちなどを気持ちよく相手に伝え、保育教諭として誇りと自覚をもった行動を心掛けている	○				<ul style="list-style-type: none"> 職員同士が気持ちよく仕事ができるように挨拶、感謝の気持ちなどを積極的にしている 仕事をしていて『ありがとうございます。』という声がよく聞こえ気持ちよく仕事している 園の備品等を大切に使うこと、整理整頓を職員が率先していくことで子ども達にも自然に身に付いていく 教材、消耗品はなるべく節約するように心掛けていますが、まだまだ無駄が多いので気を付けていきたい いつまでも正直で素直な気持ちを大切に仕事に向き合いたい 新園舎となりB棟も含めて綺麗に大切に使用していきたい ヒヤリハット事例の収集を行い、また過去の事件事例研究もし、事故を未然に防ぐ事をしていきたい コロナ感染予防対策ということもあり、引き続き、子どもの体調管理、園舎内、遊具等の消毒、教室内の換気を徹底して行いたい。 保育の振り返りの時間を昨年度よりとることができ情報共有がお互いにできて良かった 級外職員を含め保育終了後子どもの様子、情報を共有する時間をもっと必要である 常に職員も教材、廃材などによる教材研究が必要であり、園内でもっと研修する必要がある 個々の成長を観察しながら成長を促せるような遊びを取り入れるようにしているが、時として危険と隣あわせなので戸惑うこともある 日頃からの保護者への声掛けや振る舞いなどが信頼関係に繋がると感じた バス通園なので普段会う機会が少ない保護者との連絡を考えていきたい 年度が変わるごとに改めて職員一同が共通認識をもち秘密保持の大切さを認識していきたい 保護者に伝えた方がよい事を担任と共有しながらすすめている。タイミングも見極めることが大切である お迎えの遅い保護者が多いため連絡を取り合いながら話ができる時間を作っていきたい
	②	園の教材や消耗品は節約して使い、気持ちよく使えるよう整理整頓をすることを心掛けている		○			
	③	組織の一員であることを自覚し、言われたことや助言を素直に受け止め実行にうつすことができた			○		
保育について	①	子ども達が安全に遊べるように園内に危険箇所はないか点検を行う	○				
	②	感染症予防対策として、園内の消毒、換気、を徹底して行う	○				
	③	子どもの様子をよく観察し子どもの健康管理を行う	○				
	④	子ども気持ちに寄り添いながら言葉にならないサインを受け止める	○				
	⑤	一日の保育を振り返り職員同士話し合いの時間を十分に持てた			○		
	⑥	子ども達が主体的に関わりたくなるような環境、教材を常に研究し、職員同士、保育内容を高めあっている			○		
保護者への対応	①	進んで挨拶をし、丁寧な言葉遣いや礼儀正しい振る舞いをすることができる	○				
	②	保護者、園児の個人情報の管理について園の方針に従っている	○				
	③	保護者に伝えなければいけないことを適切なタイミングで報告できる			○		
	④	保護者との信頼関係を築き、保護者の意見を聞くことができる			○		

No.2 教育課程及び指導計画の編成と実施に関する自己評価

項目	内容		評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
保育教育について目標に	①	保育・教育目標の具現化向け、乳幼児の実態を踏まえた	○				<ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育は今年度より開始したので戸惑うこともあったが今年1年経験したことでの気づきや反省を次年度に活かしたい ・毎年新しい職員も入り、学年編成も変わるので職員全体で目標などについて共通認識をもつように努めていきたい ・社会の変化に合わせて、自園の大切にしていきたいもの踏まえ理想の園像を話し合っていく必要があると思う ・学年ごとの話し合いは行い、目標など共通認識できているが他学年や園全体の目標をもっと話し合う時間を持ちたい
		重点目標を設定しているか					
	②	目標は、園や地域の特色を生かしているか		○			
	③	目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか		○			
	④	目標は、前年度の反省を生かしているか	○				
⑤	目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか		○				
指導について	①	指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・その年の子ども達の成長に合った指導計画を話し合いながら考えている ・子どもの発達段階に合わせた遊びの提供ができた ・自己評価をし、振り返りながら保育をするように心がけている
	②	各教育・保育要領に基づく指導援助を適切に行っているか	○				
	③	環境の構成を意識した指導の方法や過程を常に工夫しているか	○				
	④	教材・教具を適切に活用しているか	○				
	⑤	評価結果を基に、保育の改善に努めているか	○				
時週教育	①	教育週数を確保しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・11：30降園だと預かり保育を利用する人数がとて多くなるるので検討していきたい
	②	登園・降園時刻と1日の流れは現状のままで良いか	○				
行事について	①	行事の種類や実施回数は適切か	○				<ul style="list-style-type: none"> ・餅つきなど各家庭ではなかなか経験できない日本の伝統行事は続けていきたい ・コロナ感染対策のため行事等に様々な制限があったが、可能な限り感染対策を行い、保護者の協力のもと行う事ができた ・前年度の反省を生かし、子ども達が楽しめるよう、職員同士で話し合いをして行事を進めている ・今年度より参加型参観会を実施。保護者アンケートをする事で保護者の声を聞くことができた
	②	行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか		○			
	③	乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか		○			
	④	計画・実施・評価・改善の体制を行っているか	○				
	⑤	保護者の願いや意見を取り入れているか	○				

No.3 保育の専門性に関する自己評価

項目	内容		評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
分掌制 体	①	能率的、合理的運営組織になっているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・体調が悪い時でも休める体制が取れているので安心できる ・分担、役割のバランスが上手くとれないこともあり個人に掛かる負担もバラつきがため、そのような時はすすんでサポートしていきたい ・大変な学年に職員が多く配置することで他学年に負担がかかっていたのではないかと心配した
	②	職務内容が明確で、協働できる体制になっているか		○			
	③	職員の配置は適材・適所か	○				
	④	係や仕事の分担・割り当ては適切か		○			
運営	①	各種会議を適切かつ効率的に進めているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・担当任せではなく、各々の仕事の状況を踏まえて職員同士連携をとって進めていきたい ・打ち合わせの時間を決めると仕事が効率よく進むのではないかと。 ・若い職員も意見を自由に言える会議の雰囲気作りをしていきたい ・級外職員にも打ち合わせに参加できるようにしたい ・短時間で効率の良い打ち合わせを目指したい。また出席できない職員への連絡も確実に
	②	職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか	○				
	③	打合せ回数・時間・内容は適切か		○			
学年学級 経営	①	学年・学級目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・学年で常にコミュニケーションをとり、それぞれが得意な事を生かし動いていた ・担当学年だけでなく他学年の目標も理解し繋がりのある保育ができるように色々な事を共有できるようにしたい ・乳児クラス、他学年との交流をもっと深めていきたい ・2号認定保育、預かり保育でも引き続き実態を踏まえて保育を行ってきたい
	②	学年・学級目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか	○				
	③	学年・学級目標に迫る短期・長期のねらいは、適切に設定しているか	○				
	④	同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか		○			
	⑤	意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか	○				
	⑥	評価・資料（諸記録）を集積しているか	○				
保健安全 指導	①	学年・学級経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・形式的な訓練になりがちであった。さまざまなリスクを想定し、子どもの安全をまもれるように実施していきたい。日頃から自分の役割の確認をしていく事が必要である ・家庭や地域の人々と交流する機会を増やせるよう考えていきたい
	②	避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	○				
	③	健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか		○			
	④	乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか	○				

No.4 研究・研修・情報他に関する自己評価

項目	内容		評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
研究・園内研修	①	研究主題は、保育・教育目標の具現化につながつものであるか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・乳児研修などあれば積極的に参加していきたい ・園内研修も大切にしつつ、日々の保育環境の準備も確保していきたい ・他学年との交流、理解を深める研修を増やしていきたい
	②	園内研修の計画・運営は適切か		○			
	③	研究の成果が日常の保育に生かし、幼児の育ちに反映させているか		○			
	④	研究の実践に幼児理解が深まりを見せているか		○			
研究園研外修	①	各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に全員がいつでもいけるような体制を整えているのでより多くの教諭が参加できるとよい ・朝礼などで研修報告をすることで様々な知識を得る事ができている
	②	各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか	○				
つ情報てに	①	乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いについては職員全員が共通認識をもち十分に気をつけている ・公文書については期日を守り適切に処理するように今後とも努めていきたい
	②	公文書收受、発送、処理を適切に行っているか	○				
	③	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか	○				
施設設備	①	園舎・園庭の施設・設備の安全点検を計画的に行っているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が毎日責任を持って行っている ・定期的に職員全体で倉庫などを整理整頓を心掛けている ・安全点検や不審者対応等もっと勉強していきたい。不審者対応については職員だけの研修も実施していきたい ・エントランスモニターに今日の活動等掲載しており、保護者に子ども達の様子がよくわかる
	②	遊具・用具・教材等を活用しやすいように整理保管しているか	○				
	③	不審者等に対応する周知な配慮を行っているか	○				
	④	掲示板、掲示場所等を適切かつ効率的に活用しているか	○				
出納経理	①	各種会計を適正かつ適切に処理しているか	○				<ul style="list-style-type: none"> ・予算編成をより厳密にすることにより資金計画も順調に推移している

No.5 開かれた幼稚園づくりに関する自己評価

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
他校種間交流・連携	① 他校種との年間交流計画は、保育・教育目標や課題に沿ったものになっているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナの影響で地域や他校種との交流が思うようにできなかった。感染対策を講じ可能な限り交流する機会を作っていきたい ・中高校生の職業体験などは実施することができ子ども達が普段ふれあうことない年代のお兄さんお姉さんと交流が持てて良かった ・他園に保育参観に参加し職員交流することで知識や情報を共有することができる
	② 他校種の幼児児童生徒と触れ合う中で（乳）幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮援助・指導を行っているか		○			
	③ 指導者同士が、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか			○		
	④ 参観や保育・授業等に参加するなどして、他校種教育を理解しているか			○		
	⑤ 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか			○		
家庭との連携 地域社会	① 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか		○			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染対策のとして1日各クラス1～2名の保護者を対象として参加型参観会を行った。参加した保護者の反応も良く、アンケートをとり保護者の意見を聞くことができて良かった ・保護者には少人数に分かれて園内の掃除、挨拶運動などにわかれて参加してもらった ・近隣小学校や老人保健施設等に以前のように交流できるように違った形での関りを考えていきたい ・地域の方々にもっと幼児教育の大切さを理解してもらうための方法を考えていきたい
	② 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か	○				
	③ 乳）幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか		○			
	④ 地域の行事に参加し、地域の文化や生活に触れているか			○		